

ファイナルレポート

wire Southeast ASIA 2013 – Tube Southeast ASIA 2013

東南アジア国際ワイヤー産業展 – 東南アジア国際管材製造加工・技術展

2013年10月2日

2ケタ成長を実現！！

ASEAN を代表する業界メッセの地位を確固たるものに

～さらに国際色が豊かになった出展者、来場者も前回比大幅増を記録～

タイ、そして東南アジア地域を代表する線・管材業界専門メッセ『第10回 wire Southeast ASIA』『第9回 Tube Southeast ASIA』が、バンコク国際貿易展示場 (BITEC) で行われ大成功を収めた。メッセ・デュッセルドルフ・アジアが主催する両メッセに、世界30か国から380を超える企業が、高性能な機械・機器、製造・加工技術、素材などのイノベーション・トレンドを展示した。来場数は、前回・2011年開催比28%増にあたる、55か国6,800人強を記録した。38%はタイ国外からの来場と、両メッセの東南アジアにおける重要性と訴求力を示す結果となった。タイ国外からの来場で顕著だったのは、日本、インド、インドネシア、台湾、ベトナム、マレーシアだった。

市場参入しビジネス機会を狙うグローバル企業にとって、東南アジアは製造・産業のハブとしてますます重要になってきている。ドイツワイヤー・ケーブル機械工業会 (VDK) 会頭 Dr. G. バルツ氏は、『ASEAN 地域は魅力的な投資先だ。およそ6億の人口を擁する同地域は、ASEAN 経済共同体 (AEC) の構築を2015年に目指しており、その魅力と重要性は今後も増すばかりだ。また、タイ市場はワイヤー・ケーブル製造企業にとってなくてはならない。というのは、自動車、電気・電子、インフラ開発などにおいて、これら部品の応用範囲が幅広いからだ。』と話している。

オーストリアワイヤー・ケーブル機械工業会 (VÖDKM-AWCMA) 会頭 Dr. K. エダー氏も、『wire Southeast ASIA は、ASEAN 全体へアクセスできる、まさに効果的な場だ。本年、オーストリア企業12社が出展し、同地域の購買担当と活発な商談を繰り広げた。そのほとんどが、今回の出展参加に高い満足度を示している。』と報告している。

会期中、日本、台湾、ベトナムをはじめ各国から訪問団が wire Southeast ASIA – Tube Southeast ASIA を視察、会場は活気にあふれた。タイ国内の工業団地からは、60を超えるグループが両メッセを訪れた。国際ワイヤー機械協会 (IWMA) 委員長 S. リカ氏は、『wire Southeast ASIA は、東南アジアにとって大変重要な業界メッセだ。グローバル企業と ASEAN 地域の重要な意思決定者が、一堂に会する機会を提供して



10TH INTERNATIONAL WIRE & CABLE TRADE FAIR FOR SOUTHEAST ASIA



9TH INTERNATIONAL TUBE & PIPE TRADE FAIR FOR SOUTHEAST ASIA

17 - 19 Sept 2013

BITEC Bangkok Thailand

www.wire-southeastasia.com
www.tube-southeastasia.com

Industry Partners (wire):



IWMA - International Wire & Machinery Association



IWCEA - International Wire & Cable Exhibitors Association

- Austrian Wire and Cable Machinery Manufacturers Association (VÖDKM-AWCMA)
- International Wire and Cable Exhibitors Association - France (IWCEA-France)
- German Wire and Cable Machine Manufacturers Association (VDKM)



Italian Wire Machinery Manufacturers Association (ACIMAF)



WCISA Wire and Cable Industry Suppliers Association

Industry Partner (Tube):



International Tube Association

Officially supported by: Messe Düsseldorf / Organizer of:



THAILAND CONVENTION & EXHIBITION BUREAU



Organized by:



Messe Düsseldorf Asia

Messe Düsseldorf Asia Pte Ltd
3 HarbourFront Place #09-02
HarbourFront Tower Two
Singapore 099254

Tel: (65) 6332 9620
Fax: (65) 6337 4633
(65) 6332 9655

wire@mda.com.sg
tube@mda.com.sg
www.messe-duesseldorf.de/MDA

Business Registration 199507124Z
Messe Düsseldorf Asia is a member of



くれる。』と評価している。

米国、イタリア、オーストリア、シンガポール、台湾、中国、ドイツ、フランスの計 8 か国・地域がパビリオンを形成、タイ国外から参加した企業の 97% が各国のパビリオンに出展した。メッセ・デュッセルドルフ・アジア代表取締役 G. リングリンクは、『来場数、そしてタイ国外からの出展数が、2 ケタ成長を遂げたことを率直にうれしく思う。グローバル経済の焦点がますます東南アジアにあてられており、両メッセが同地域へのビジネスのパイプ役として、今後も業界の需要を満たしていかなければならない。』と語っている。



革新的な技術と知識を一体的に

wire Southeast Asia 2013 – Tube Southeast Asia 2013 は、自動車、建設・建築、電気、エネルギー、電気通信といった主要産業に対し、生産性と業務効率を向上させるソリューションにも焦点をあてた。『アジアはこれからまだ発展する。今回の Tube Southeast Asia 出展で分かったことは、研究開発の着想が豊富だったことだ。そのうえ、世界の管材業界の最新動向もつかむことができた。』と話すのは、VNIIMETMASH 社 A. サヴェリエフ海外営業部長、ならびに同 A. ドブロヴォルスキー顧問だ。



Reber Systematic 社 E. アイヘルマン代表取締役社長は、『今年の wire Southeast Asia – Tube Southeast Asia に参加した来場者の質に、大変感心した。メッセの準備として行われた技術セミナーが会期中に波及効果を生み出し、その結果、15 を超えるプロジェクトを担当することとなった。これにはとても満足している。』と振り返っている。

本年度両メッセへの来場が 3 回目となる在フィリピン Synthium Trade 社 T. G. デーヴィッド氏は、『来場目的は、主要なメーカー・サプライヤーとの人脈を保つこと。これまでと比べ、今年はより多くの企業が出展し、来場者も多かった。』と、感想を述べている。

wire Southeast Asia – Tube Southeast Asia の成功についてリングリンクは、『力強く、そして急激に発展しているタイ、そして東南アジア圏でのビジネス、あるいは参入を目標とする内外の出展・来場者に対し、効果的な場を提供できた。wire Southeast Asia – Tube Southeast Asia は、最新技術・イノベーションを共有しながら、グローバルなビジネスコンタクトを提供していく。』と総括している。

出展製品は、ケーブル・ワイヤー製品はもとより、ワイヤー・ケーブル / チューブ・パイプ原材料製造から供給、加工・技術、そしてサービスに至るまで、業界の全バリューチェーンにおよんだ。これはひとえに今回参加した出展者によるところが大きく、おかげで両メッセがより国際的なビジネスができる

場となった。PETROVIETNAM STEEL PIPE 社 H. T. ヴー事業開発部長は、『参加目的は、弊社製品・サービスの認知度を、東南アジアで向上させること。今回の出展が、急速に発展する ASEAN 市場へのきっかけを提供し、ビジネスを前進させてくれるものと信じている。』と、メッセ初参加への期待を語っている。

wire Southeast ASIA 2015 – Tube Southeast ASIA 2015

次回は、2015年9月16日(水)～18日(金)にバンコク国際貿易展示場(BITEC)で開催される。

『wire Southeast ASIA』・『Tube Southeast ASIA』に関する情報・お問い合わせは、[\(株\)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](#)、あるいは下記日本語ホームページをご覧ください。

<http://wire.messe-dus.co.jp> / <http://tube.messe-dus.co.jp>

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当： 橋木 雅弘

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 TEL.: 03-5210-9951
ニューオータニ ガーデンコート 7F FAX: 03-5210-9959